

第4次

# あいち多文化共生推進プラン

2023 - 2027





## はじめに

愛知県では、自動車産業等の製造業における外国人材の受入れ急増を背景に、2008年に「あいち多文化共生推進プラン」を策定しました。その後、2013年に第2次、2018年に第3次のプランを策定し、社会の変化に対応しながら多文化共生施策を推進してきました。

愛知県で暮らす外国人は、2008年末時点では全国で3番目に多い約21万人でしたが、2021年末時点では約26万5千人にまで増加し、東京に次いで全国で2番目となっています。県の総人口に占める割合は約3.5%で、永住化・定住化も進んでいます。

人口減少・少子高齢化が進む社会において、外国人県民は、地域経済や地域社会を支える担い手として、今後益々活躍が期待されます。

しかし、言葉や文化が異なる国で暮らす外国人県民にとって、日本語によるコミュニケーションや、医療、災害・防災などの生活に必要な情報へのアクセスには困難が伴うことがあります。外国人県民と日本人県民が、共に自身が持つ能力を生かし、支え合う地域社会を築くためには、互いの文化的背景や考え方を理解し、全ての県民が安心して暮らせる環境を整備していかなければなりません。

「第4次あいち多文化共生推進プラン」は、こうした社会の変化や課題に対応していくため、2023年度から2027年度までの5年間における本県の多文化共生施策の方針や考え方を示したもので、「安全・安心な暮らしを支える体制の強化」「持続可能な地域日本語教育推進体制づくり」「外国人県民の活躍促進」「多文化共生への理解促進」の4つを重点的な取組の方向性として掲げています。

多文化共生社会の実現は、本県の活力を生み、未来や希望へとつながります。様々なルーツを持つ県民の皆様が、愛知という一つの舟に乗って、共に生活し、活動する仲間として、支え合いながら笑顔で健やかに暮らせる多文化共生社会の実現を目指し、着実に取組を進めてまいります。

県民の皆様には、本プランの趣旨を御理解いただき、多文化共生の社会づくりの実現に向け、引き続き、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本プランの策定に当たり、「『次期あいち多文化共生推進プラン(仮称)』検討会議」の委員をはじめ、多くの皆様から貴重な御意見をいただきましたことに対し、深く感謝いたします。

2022年12月

愛知県知事  
大村秀章





### **愛知県多文化共生シンボルマーク**

世界を表す地球を擬人化して表現し、その周辺には手をつないだ人々を配して互いの文化を理解しあっている様子を表現しました。

# 目次

<b>I</b>	<b>あいち多文化共生推進プラン改訂の考え方</b> .....	1
1	趣旨.....	1
2	位置付け.....	1
3	計画期間.....	1
4	多文化共生推進の意義.....	2
<b>II</b>	<b>プラン改訂の背景</b> .....	3
1	外国人県民数の推移.....	3
2	外国人労働者数の推移.....	4
3	入国管理制度等の改正.....	5
4	外国人児童生徒の状況.....	6
5	デジタル化の進展.....	7
6	新型コロナウイルス等の感染症や気象災害の激甚化等の新たなリスク.....	7
7	多様性と包摂性のある社会の実現に向けた動き.....	7
8	国の動向.....	7
<b>III</b>	<b>これまでの取組と今後の課題</b> .....	9
1	これまでの取組.....	9
2	今後の課題.....	11
<b>IV</b>	<b>第4次プランの内容</b> .....	15
1	基本目標.....	15
2	施策体系.....	15
3	重点的な取組の方向性.....	19
4	評価指標.....	20
5	施策の具体的な展開.....	21
<b>V</b>	<b>推進体制</b> .....	35
1	多文化共生推進主体の役割.....	35
2	庁内における推進体制.....	35
3	各主体との連携・協働.....	35
4	プランの進行管理と適切な見直し.....	35
5	実施状況の公表.....	35
	<b>【参考資料】</b> .....	36

